

シンポジウム

国民の命を危険にさらすマイナ保険証

日時：2025年9月27日（土）午後1時～5時

会場（仮）：明治大学駿河台キャンパス リバティタワー 14階 1145教室
神奈川大学横浜キャンパス 24号館 112教室（法廷教室）
大阪弁護士会館 9階 会議室 903
※リモート参加も可能（Zoomによるオンライン配信、先着順）

政府は、2022年10月に突然に、マイナンバーカードと保険証の一体化を表明し、昨年の通常国会で、マイナンバーカードへの保険証統合に関する法律改正をしました。その後、誤った紐付け、医療機関での誤表示や窓口負担が異なるトラブルなどが多発し、患者にとって何のメリットもないこと、地域医療に混乱と悪影響をもたらすことが明らかになりました。

また、2024年12月から、従来の保険証の新規発行を停止しましたが、資格確認証の発行に関する問題も新たに発生するなど、このままでは、国民に不便を強いるだけでなく、地域医療へ混乱をもたらし、深刻な実害が生じかねない事態となっています。

本シンポジウムでは、マイナ保険証問題に関して、様々な問題点について深掘りし、現行保険証を存続することが如何に大事か、共に考えたいと思います。多数の方のご参加をお待ちしております。奮ってご参加ください。

基調講演 「個人情報の観点から見たマイナ保険証の問題」 30分

講師：宮下 紘氏（中央大学総合政策学部教授）

講演1 「マイナ保険証は世界の非常識 ～カナダから学ぶ～」 30分

講師：佐藤 信行氏（中央大学法科大学院教授）

講演2 「医療機関の現場から見たマイナ保険証の問題」 30分

講師：山崎 利彦氏（全国保険医師団体連合会理事・埼玉県保険医協会理事）（仮）

報告 「マイナ保険証をめぐる昨今の問題」 20分

報告者：赤石 あゆ子氏（弁護士）

パネルディスカッション 100分

パネリスト：

山崎 利彦氏（全国保険医師団体連合会理事・埼玉県保険医協会理事）（仮）

〇〇 〇〇氏（ 市長）

小島 延夫氏（弁護士）

コメンテーター：

宮下 紘氏（中央大学総合政策学部教授）

コーディネーター：

幸田 雅治氏（神奈川大学法学部教授、弁護士）

主催：地方自治と地域医療を守る会

共催：全国保険医団体連合会、日弁連法務研究財団（予定）

協力：明治大学自治体政策経営研究所、神奈川大学法学研究所

後援：白鷗大学法学部、関東学院大学地域創生実践研究所、（株）廣瀬行政研究所（予定）

問い合わせ：シンポジウム事務局（e-mail：meiji.meeting@gmail.com）